



農林大学校の動き(R1年10月)

2019. 11. 11

鳥根県立農林大学校 (担当:教育部 松本)

TEL:0854-85-7011 FAX:0854-85-7113

<https://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

農林大の学生達の日頃の活動状況、いろいろな行事などを簡単にご紹介します。



○鳥根県立農業大学校との交流会(花き専攻)開催(10/2)

両校学生・職員の連携と一層の資質向上を図るため毎年持ち回りで開催しており、今年度は本校で開催。自己紹介カードによるお互いの自己紹介から始まり、花き専攻のほ場案内、リース作りなどで交流を深めた。



○林業エンジニア研修を開催(10/7~8)

県内事業体における林業架線技術の向上を目的に、松江市ほかにおいて「林業架線作業技術者研修(応用コース)」を開催した。県内の6事業体から10名が参加し、現場での創意工夫の状況について現場視察を行うとともに、意見交換を行い、技術の習得を図った。



○農業科1年生が浜田市の串崎農園、中下農園を訪問(10/11)

串崎農園では、有機葉物野菜栽培の苦労話や農林大学校でやっておくべきこと、中下農園では、果樹専攻の卒業生として、学生時代から心がけていた「日々観察」の大切さなどを聞くことができ、貴重な学習機会になった。



○県内高校生の体験学習を受入

松江農林高校生物生産科1年生40名(10/8~9)、出雲西高校普通科環境福祉コースの2年生43名(10/16)が、各専攻で作業体験を行った。



○農業科2年生(22名)が大坂市場等でマーケティング研修を実施(10/10~11)

農業の生産だけでなく流通・販売の知識を得ることにより、優れた担い手を育てることを目的として、大坂市や兵庫県内の量販店(阪急オアシス尼崎潮江店)で農林大産品を販売する体験や青果、食肉の各市場見学などを行った。

○令和元年度有機農業実践研修が終了(10/15)

令和元年度の有機農業実践研修は、5月14日~10月15日の全21回を終了し、閉講式を行った。

研修生2名からは、最近では充実した期間であった、今後に活かしたい等の感想が聞かれ、好評であった。

○「第37回中国ブロック農大生のつどい」に参加(10/17~18)

輪番制の大会である本つどいは、本年は岡山農大主催で、岡山農業公園ドイツの森とかもがわ総合スポーツ公園を会場として開催された。岡山農業公園ドイツの森を視察したのち、スポーツ大会で交流を図った。ソフトボールは優勝(5連覇)し、卓球は惜しくも4位となった。

皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。